

# 御挨拶

会長 高杉 直

会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のことと御慶び申し上げます。

今年も無事に『国際商取引学会年報』第19号を公刊することとなりました。

この年報は、本学会が主催する研究大会（全国研究大会および西部・東部の地域部会）での研究報告に基づく諸原稿から成るものであり、本学会における研究の成果を示すものです。このような立派な年報が公刊できたのも、原稿の執筆者はもちろん、原稿を事前に丹念に御審査いただいた多数のレフェリー（匿名）の方々や、各原稿を年報の形に編み上げた年報編集委員会（渡邊隆彦 [委員長]、梶田幸雄 [副委員長]、久保田 隆、長沼 健）の御尽力によるものです。本学会を代表して、心より厚く御礼申し上げます。

本学会は、1998年に設立されており、本年（2017年）は、創立20周年にあたります。そこで、学会創立20周年を記念した新規事業について、現在、新規事業委員会（藤川信夫 [委員長]、浜辺陽一郎 [副委員長]、小田 司、河野公洋、花木正孝）において検討中でございます。2017年秋の全国研究大会の際の会員総会において、新規事業の計画について報告する予定です。

2007年の学会創立10周年の際に新規事業として承認された「模擬仲裁日本大会」につきましては、模擬仲裁委員会（大貫雅晴 [委員長]、長田真里、中野俊一郎）の下で、2017年3月に第10回大会を開催することができました。2008年2月の第1回大会の参加チームは3大学だけでしたが、今回の第10回大会では、全国8大学から9チームを迎えることができました。

全国研究大会につきましては、2016年11月に第19回大会が神戸大学で開催されました。第1日目は、国際商取引に関する諸問題について商学・法学・実務の視点から12の個別報告がされました。第2日目は、「アジアにおける国際ビジネスと法」と題するシンポジウムが開催されました。いずれも所定の時間内に収まりきらないほどの活発な議論がなされました。報告者、コメンテーター、座長をはじめ、全国研究大会に御参加いただいた皆様、そして主催校である神戸大学の関係者の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。

2017年秋の第20回全国研究大会につきましては、研究企画委員会（平野英則 [委員長]、田中誠和 [副委員長]、河野公洋、杉浦保友、西谷祐子、平野温郎、齋藤 彰、齋藤憲道）において企画を進めております。個別報告につきましては、公募制が採られておりますので、会員の皆様におかれましては奮って応募していただきますよう御願い申し上げます。

なお、前執行部の任期満了により、新たな学会事務体制に移行しております。新体制では、会長、副会長（阿部博友、阿部道明）のほか、本部事務局長（長沼 健）、HP運営委員長（河野公洋）と3人の幹事（高森桃太郎、小野木 尚、小池未来）から成る本部事務局で日常会務の執行をしております。住所変更その他の学会宛の連絡事項等がありましたら、学会ホームページ上に記載されております宛先に御連絡をいただければ幸いです。

引き続き、会員の皆様の御支援と御協力を御願い申し上げます。

（以上、敬称略にて失礼いたします）